【一般部門】誰かに想いを伝えるもの

≪松山市長賞≫

二歳の駆(かける)君へ――

鉄棒に初めてひとりでぶらんぶらん芋虫みたいな影も揺れてる

山口県山口市　稲田(いなだ)　和子(かずこ)　63 歳

≪松山市教育長賞≫

友へ――

まだつかぬ花火持つ手がふるえてるこれは恋かと心ゆらめく

済美平成中等教育学校　松影(まつかげ)　雛(ひな)　13 歳

≪愛媛県知事賞≫

子規さんへ――

秋の陽がペン先ゆらゆら遊ぶから何か名文生まれそうで

愛媛県松山市　荒木(あらき)　恵子(けいこ)　61 歳

≪審査員特別賞≫

認知症になった母へ――

「どちらさま」目は真剣で清らかで「はじめまして」とつい口に出た

山形県鶴岡市　佐藤　文子(ふみこ)　65 歳

村の青年へ――

耕運機止めて聴きをり遠噺子(とおばやし)青年何度も口太鼓(くちだいこ)打つ

神奈川県厚木市　多田(ただ)　武峰(ぶほう)　92 歳

大好きな人へ――

とりあえず来世の予定はありますか？　目印はまた耳のうしろに

愛媛県今治市　八木(やぎ)　佐織(さおり)　42 歳

お母さんへ――

けんかした日の弁当はいつもの五倍はおいしいけん帰ったら言うね「ごめんなさい」

愛媛県松山市　村上　夏帆(かほ)　14 歳

生徒へ――

「五・七・五・七・七　先生　難しい」　その目のなんとも　キラキラしたこと

中国広東省　小谷(こたに)　真央(まお)　25 歳

【特別部門】テーマ：「四国遍路」

本年度は、子規のふるさと四国が「四国霊場開創 1200 年」を迎えることを記念し、設けました。

≪「四国遍路」大賞≫

お遍路さんへ――

おへんろさん、おつかれさまぁ、と声かけて蜻蛉(とんぼ)のなかを駆けてゆく子ら

愛知県津島市　相原(あいばら)　利沙(りさ)　33 歳

お遍路さんへ――

あいまいに道案内をしたけれど無事にお寺についててほしい

愛媛県松山市　松田(まつだ)　花奈(はな)　12 歳

応募総数　10,330 首　（一般部門：9,264 首　特別部門：1,066 首）